

『口腔内に調和するメタルセラミックスをめざして』

今日、「審美補綴」と言えばジルコニアオールセラミックス補綴が先ず話題にのぼりますが、しかし永年に亘り臨床で培われたメタルセラミックスによる「審美補綴」の信頼度にはゆるぎないものがあります。

その様な中で極力シンプルに基本築盛を押さえることのみで、より良いメタルセラミックスの製作を少しのアレンジを加え口腔内下においてシェードマッチさせることが出来ます。陶材の材料特性を十分に引き出し、同時に若干のステインワークを行うことにより、よりグレードの高いメタルセラミックスを簡単に製作することが出来、且つ日常臨床のステップアップが図れることになると思います。

岐阜県歯科技工士会 学術理事
メデエック有限公司 新川哲矢